

取組のポイント

- ◆八百津町山村エリアの「おいしい（もの・こと・ひと・風景・歴史）」を発信し、多くの人に選ばれる（来たい・買いたい・見たい・食べたいetc）ことを目的に、多種多様な住民が集うワークショップ（WS）の開催。
- ◆ワークショップ参加者同士の新たな横のつながりができた（WS参加事業者が新商品を開発し、WS参加者のお店で販売、WS参加者同士でコラボした新商品開発etc）。

地区の概要

- ◆ 位置
岐阜県八百津町
人口：11,000人 面積：128km²（80%以上が山林）



- ◆ 活用した地域資源
茶、よもぎ、猪肉
- ◆ 事業実施主体
八百津町
- ◆ 主な取組団体等
八百津町山村活性化推進協議会、お茶生産者、地元事業者等
- ◆ 事業実施期間
H30～R2

取組の特色

地域資源の調査や付加価値向上等の取組

- ◆ワークショップを6回開催し、「おいしいで選ばれるやおつ」をテーマに意見交換した。
- ◆岐阜大学（特産品開発）、名古屋造形大学（エリアマップ等制作）の学生が現地調査を目的に合宿を行い、山村エリアの知識を深めた。



【ワークショップのようす】



【合宿のようす】

地域資源の消費拡大や販売促進等の取組

- ◆町で従前まで作成することがなかった山村エリアのマップをWS内の意見も取り入れながら名古屋造形大学の学生が制作。
- ◆新商品販売促進目的に、キャンペーンを実施。WEBや地域月刊情報誌を活用した広報等周知。



【山村エリアマップ】



【情報誌掲載のようす】

取組の成果

- ◆地域資源を活用した新商品の開発 0品（H29：取組前）→ 26品（R2）
- ◆製茶組合の新商品開発に関わる粉茶の販売額 0千円（H29：取組前）→ 1,917千円（R2）
- ◆PR、新商品販売等に関わるWEBサイト管理・運営の雇用数 0人（H29：取組前）→ 1人（R2）